

### 巻頭言 議員力と議会力

「議員力」と「議会力」。この違い、分かりますか? 文字通り読めば、議員力は一個人議員としての力。議会力は議員が集まった総体である議会としての力です。我々議員は一人ひとり支持者や市民の方々に向き合い、また市政課題を見つけ日々の議員活動をしていますが、ここで注目したいのは、では、議会としては何をやっているの?ということです。

#### 議会の活動

- ①定例会を年4回行い、議決をする。 (市民からの請願陳情審査含む)
- ②毎定例会後、「議会だより」を発行する。
- ③年に1回、議会報告会をする。
- ④委員会ごとに年に一度視察に行く。

随時行われる全員協議会は別として、議会の活動はこの4つぐらいです。中でも市民の皆さんと議会とが顔を合わせてやり取りする機会は、定例会の陳情・請願審査を別にして、年に1度の報告会だけです。これでは市民にとって議会の存在感が薄いのも仕方ありません。市民との意見交換会や議会だよりのモニター制度など市民との接遇機会を多様に設けるなど、市政がより身近なものになっているなど、市政がより身近なものになってい

く取組が必要です。また一個人議員の意欲や 力量によって、市民の意見がくみ取られ、市 政に届けられるというのではなく、市民の 意見を市政に反映させていける仕組 みを議会として用意しなければなり ません。

議会は二元代表制の一機関として議決権を 持ち、行政へのチェックや政策提案を行うことができます。それは一議員として一般質 問などを通じてもできますが、**議会全体として提案できれば、より大きな力として行政に影響を与えることができます。**一議員の発言が鉄砲玉なら、議会の 提案は大砲でしょうか。



政治理念も違う多様な議員で構成する議会 なので、すべてコンセンサス(合意)がとれ て議会提案するというわけにはいきません が、重要な政策課題については、議会内でしっ みなさん、こんにちは。安曇野市議会議員の増田望三郎です。安曇野市政が市民にとって身近なものになるように活動報告をお届けします。市政との虹(= Rainbowレインボウ)の架け橋として頑張ります。望三郎の活動は市議ブログやフェイスブックでもどうぞ。→「増田望三郎」で検索。

かりと議論し、議会としての提案を行わなければ、「議会は何をしていたの?」という話です。そのためにも、議会基本条例にも定められている議員間の政策討論会をもっと開催し、議論をしなければなりません。

市民のみなさんにも、ぜひ「それで、 **議会としてはどのような議論をした** のか?」という視点をもって我々議会を注 視して頂きたいです。一個人議員としてもも ちろん頑張りますが、「チーム議会」とし ての存在価値、すなわち議会力を発揮できる ようにする。それが私の今期の目標です。そ | ●プロフィール

大分県出身 49 歳。東京経由で安曇野に移住し 15 年目。三郷小倉に妻と 2 人の子ども、妻の両親の 3 世代で暮らす。自給の農業をしながら、出会いと体験の宿『安曇野地球宿(ちきゅうやど)』を経営。安曇野市議、現在 2 期目。好きな言葉は『出会い、共感、展開』

のためにも各会派のみなさん、各議員の一人 一人としっかりコミュニケーションをとり、 心を通わせていきたいと思っています。

## まちづくりトークのご案内

「安曇野まちづくりトーク」と題して、車座で市民のみなさんと議員がより近く、安曇野のまちづくりを話し合う場を作っています。ぜひご参加ください。参加議員は増田望三郎と小林純子議員の2名の予定です。どうぞご参加ください。

♪ 日時: 1 0 月 2 1 日 (日) pm2:00 ~ 4:00

♪場所:穂高会館



## サポーターからの応援メッセージその 18

福島修道さん(明科・心療内科、臨床心理カウンセラー)

安曇野、明科は私の大好きな心のふるさと。豊かな水と緑と四季折々の伝統文化の暮らしを、祖先たちが営々と守り育て残してくれた、日本を代表する美

しい里。ノーベル賞作家川端康成が長峰山から見下ろした安曇野を「子孫に残したい美しさ」と 絶賛した。毎朝登山で市民たちから愛されている光城山の桜並木の山道も、一世代前の先輩たち が残してくれた子孫への愛情と思う。

現在、時代の要望に応えて市が推進している農家民泊事業がスタートするとき、望三郎さんに「一緒にやりましょう」と誘われ、私の家も東京、大阪の中学生たちのホームステイを受け入れるようになりました。子供たちを明科自然体験交流センター、白鳥飛来地に連れて行くと…夏でも冷たい湧水の流れで夢中で水遊びする。群れ飛ぶ多様な水鳥たちと出会う。夜の蛍狩りで手のひらに乗せたホタルの点滅に息を飲む。「安曇野」から一生忘れない思い出をもらって都会に帰ってゆく。

地元に住む私たち以上に「安曇野はいいところだ!」と言う声が、都会の人々にゆっくり広がってゆくのを感じる。安曇野を愛する人が増えてゆけば、いつか花は咲く。望三郎さんは、そのことがわかっている人だ。夢を語るが決して夢想家ではない。未来の子孫に、美しい安曇野を橋渡しする人になるだろう。

#### 9月定例会の一般質問

## 観光振興ビジョンの 見直しと今後の力点は

【解説】市の観光振興計画である観光振興ビ ジョンが策定され5年が経過しました。観光 分野の展開の速さに対応するために、ビジョ ンの検証と見直しが必要です。また今後の観 光の力点として、農業、アートから暮らしま で、安曇野での様々な体験と人的交流のイン バウンドを進めるべきだという提案をしまし た。安曇野ならではの人の心を感じる観光施 策を推進していきます。



望市議 市の観光理念でもある安曇野暮らし ツーリズムはこの5年間でどう進んだか。

市長 安曇野暮らしを来訪者とともに成長発 展をさせ、観光を軸として安曇野全体の活性 化につなげたい。そんな思いから始まったも の。安曇野ハーフマラソン、新そばと食の感 謝祭、農林業まつり、農家民宿事業などを通 じて本ビジョンの理念が促進がされてきた。

望市議 検証を行うプロジェクト推准会議は 5年間の中で1回もされず検証機能が不存在 だった。この5年間の検証も含めたビジョン の見直しを提案する。

商工観光部長 策定当時盛り込まれていな かったインバウンド、山岳観光などを内部の 検証作業や実態把握等とあわせながら、外部 委員の意見を聞き、見直しを行う。

望市議 本市の観光は今後、何に力点を置く のか。

市長 観光産業、山岳観光への対応が非常に 必要。本市ならではの自然、農村景観、歴史、 文化の観光資源を生かす2次交通の拡充な ど、滞在型観光地づくりを目指していく。多 様化する旅行形態に対応して、観光の質が高 まるよう、さまざまな業種が連携をして取り 組んでいくことも大切。インバウンド、ある いは本市への来訪者の積極的な受け入れ態勢 づくりも必要。観光協会に独自性を発揮して いただきたい。

望市議 本市観光の最大の課題は滞在が短 く、通過されてしまうこと。滞在型には体験 と人的な交流、この2つをしっかりと用意す ること。箱と物から事と人へ。今後の市の観 光の力点を、ますます伸びていくインバウン ドに体験と人的交流を組み込んだものにし て、強く推し進めていく提案をする。農家民 宿事業の中でもインバウンドを進められない か。

農林部長 農家民宿協議会の会員の中には、 積極的にインバウンドを受け入れたいと考え ている農家さんもいる。そのような意欲を 持った方たちが中心となって、農家民宿の新 しい体制づくりを進めていくことが必要。

# 《質問 2》保育無償化と 踏ん張る安墨野市

【解説】国は消費税増に伴い、2019年10月 から幼稚園、保育所、認定こども園の幼児教 育無償化をすすめます。この政策により安曇 野市はどのような影響を受けるのかを質問し ました。特に無償化対象外になる自然保育の 認可外闌については経営困難の可能性もあ り、安曇野市に踏ん張ってもらいたいです。

望市議 無償化されれば子供を預けて働く母 親も増え、都市部では待機児童が増えると言 われている。本市はどうなるか。

福祉部長 3歳以上児はほぼ全ての子供がい ずれかの施設を利用しており、ニーズがこれ 以上増えることはない。ニーズが増加してい る3歳未満児は非課税世帯が無償化の対象。 施設整備も進めているが、待機児童の増加は 現時点では予測しかねる。

望市議 保育無償化により市の負担は実質増 えるのか、減るのか。

福祉部長 実質的には市町村の負担は1割程 度軽減される見通しであると国は説明をして いる。

望市議 自然保育を取り組む民間の認可外園 は対象外となる。認可外の自然保育園から公 立、私立の認可園に子供が移って、その結果、 認可外園の経営状態が立ち行かなくなるので はないか。

市長 自然保育の認可外保育施設は公立の認 定こども園などでは得られない、より自然保 育に特化したものを求めている。独自性を発 **揰すれば心配する状況は同避できるのではな** いか。

望市議 自然保育は本市のアピールポイン ト。市の自然保育推進の方針は変わらず、市 単独での補助施策も継続されるのか。

**市長** 今の体制は維持していきたい。

望市議 国の無償化の制度により、認可外自 然保育園は翻弄される状況にある。それを回 避するのもまた政治の役割である。安曇野市 政としては何ができるか。

市長 県とも連携をし、無償化の対象となる ように、市長会等の組織を通じて国に働きか ける。

望市議 自然保育認可外園に上積み補助を検 討できないか。無償化による市負担軽減分を 財源とすればいい。

市長 安曇野市の子供として同じ条件が望ま しいが、現段階では補助金の上積みは考えて いない。どういった支援ができるのか内部で 研究する。

